

令和5年度 第5回中央公民館運営審議会会議概要

(令和6年4月24日作成)

1 開催日時

令和5年12月14日(木) 午後2時58分～午後4時09分

2 開催場所

中央公民館 4階 第2集会室

3 出席者

(1) 委員 沼波委員長、山中副委員長、宮崎委員、中野委員、染谷委員、三宅委員、長谷川委員

(2) 事務局 中央公民館長、浜町公民館長、宮本公民館長、海神公民館長、中央公民広域事業担当者

4 欠席者 なし

5 議題

「公開」

1. 12月14日から3月31日までの事業報告について

「非公開」

2. 社会教育関係団体の登録について(新規)

6 傍聴者数 なし

7 決定事項

1. 各公民館の12月14日から3月31日までの事業計画を承認
2. 社会教育関係団体の登録について(新規)を承認

8 議事 次ページから

9 その他

今回は、令和6年5月2日(木) 午後3時(予定) 中央公民館

10 問い合わせ先 中央公民館 047-434-5551

# 令和5年度 第5回 中央公民館運営審議会 議事録

日 時	令和6年3月14日（木） 午後2時58分～4時09分
会 場	中央公民館 4階 第2集会室

午後2時58分開会

○事務局（中央公民館長）

それでは、ただいまから令和5年度第5回中央公民館運営審議会を開催いたします。

本日の審議会は、全委員の皆様にご出席いただいております。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立となります。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

それでは、議事に入りますが、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が会議を整理することとなっております。それでは、沼波委員長、よろしくお願いいたします。

○沼波委員長

では早速、12月14日から3月31日までの事業報告を各館より、よろしくお願いいたします。

○中央公民館長

それでは、中央公民館から事業報告をさせていただきます。

12月14日から3月31日まで、あと数件事業を残しておるところですけれども、ご報告させていただきます。

まず、青少年の事業でございます。「ふなばしハッピーサタデー」、こちらは記載のとおり4回実施いたしました。申し訳ありません、12月の日付の訂正をお願いします。こちらは23日（土）になります。それから最後の3月9日、これは終えたばかりですので、加筆をお願いいたします。天候が晴れです。参加人数は親子14組、男12名、女17名になります。本事業は年間を通して子供たちの体験機会、居場所づくりを提供してまいりました。コロナ禍では子供の体験機会の減少が危惧されましたが、今年度は予定どおり実施することができました。次年度以降も子供たちが興味、関心を持つような事業を展開できるように努めてまいりたいと考えております。

続きまして、成人の事業です。「大人の職業体験（アナウンサー編）」です。こちらを2回にわたり計画しております。3月10日は既に終えております。こちらも加筆をお願いいたします。天候は晴れです。参加人数が18名、男が6名、女が12名になります。こちらはフリーアナウンサーの鈴木久美子さんを講師に招いて実施いたしました。子供たちですと学校の総合学習の時間で近隣の商店や、また公共施設などで職業体験をするという機会がございます。ただ、大人になると他業種で体験するという機会はなかなか経験できないことだと思います。様々な職業を知ること、自身の職業についてまた新たな発見や見つめ直しをいただく機会になればと思っております。

次のページ、「家庭教育セミナー」です。こちらは記載の2回を実施いたします。1回目では子育てカウンセラー、2回目では県の中央児童相談所所長を招き、実施いたします。2回目ですが、こちらは3月16日（土）に開催する予定です。申し訳ありません、また訂正のほうをお願いいたします。2回目につきましてはもう現在40名の応募をいただいております、家庭教

育に対する地域の方々の高い意識が見られているところでございます。

続きまして、1つ飛ばして、「成年後見制度の現状と課題」です。こちらにつきましては、千葉県社会保険労務士会船橋支部との共催で実施いたしました。このような事業につきましては、他の公民館でも同様の講座を実施いたしますけれども、参加者を募ってもなかなか集まらないというような状況が見られます。しかしながら、今回、定員の70%の参加がございまして、質疑も活発に行われるなど、この事業、この地区に即したというか、見合った事業であったかなと考えております。

続きまして、高齢者の部です。「中央ふれあい学級」「ふなばしシルバーリハビリ体操」は、記載のとおり実施いたしました。「中央ふれあい学級」につきましては、昨日、3月13日の部分、ここも加筆をお願いいたします。晴れです。参加人数が35名になります。男が9名、女が26名でございます。中央公民館区は商業施設などが多いせいか、高齢者の方々がなかなか集まらない。商業施設等で居場所があるのか、ちょっと分かりませんが、他の公民館より申込みが非常に少ないところでございます。この前調べたら、公民館は26館ございまして、中央公民館は申込み数としては64名ということで、下から2番目という数値でございます。ただ、目的をもって公民館まで通うことが健康維持につながる一つと考えますので、今後も公民館が通いの場として地域の皆さんに浸透していくことにつきまして、さらに取り組んでまいりたいと考えております。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」ですが、こちら申し訳ありません、訂正がございました。日付が12月は27日です。それから、3月21日は木曜日になります。大変申し訳ございませんでした。

続きまして、その他の部です。「サークル活動・体験月間」は、117団体のうち57団体に参加をいただきました。見学・体験ということで86名の方がこの期間に訪れまして、入会された方が24名ございました。これは非常に高い確率というか、とても成果があったものと考えます。今後も社会教育関係団体の活動が維持、継続されるよう、引き続き団体の支援、育成に努めてまいりたいと思っております。

続きまして、「青年教室『若草の会』」は、記載のとおり実施いたしました。

次の「サンデー・コンサート」です。こちらはこの期間は3回実施いたしました。2月は船橋市音楽月間として、千人の音楽祭をはじめ、地域ふれあいコンサートなどを多くの公民館で実施しております。また「サンデー・コンサート」におきましても、いずれの回も多くの方に参加いただき、好評をいただきました。次年度以降も引き続き、音楽に親しんでいただく機会を提供してまいりたいと考えております。

続きまして、「巡回児童ホーム事業」です。1歳以下の子と保護者を対象にしたほかほか広場、小学生を対象としたわくわくタイムを実施いたしました。3月8日ですが、金曜日、天候は雪です。朝のうちに雪が降っておりました。参加者数は8組です。人数として16名、男5名、女11名になります。加筆をお願いいたします。

中央公民館区では児童ホームの設置がないため、巡回して実施することで子育て世代の方々にとって情報交換ができるなど、よい機会を提供することができたと考えております。

併せて「出張子育て支援事業」につきましても、子育て支援センターとの共催で毎月実施してまいりました。講話や相談会、音楽会など、子育て中の親が学習や情報交換を行う貴重な場

となっております。今後も継続して実施してまいりたいと考えております。

中央公民館からは以上になります。

○沼波委員長

ありがとうございます。

全館終わってから質疑を受けたいと思いますので、続いて浜町公民館、お願いいたします。

○浜町公民館長

浜町公民館でございます。

まず初めに青少年の部でございます。「遊びの学校・ハッピーサタデー」、こちらは12月16日、1月27日、2月25日は「わんぱくフェスタ」でございますが、計3回実施いたしました。こちらは様々な協力団体の方にご支援いただきまして、毎回、講師を熱心に受け持っていたいただきました。子供たちがとても喜ぶ、笑顔はじけるような、そういった事業となっております。

続きまして、先ほど言いましたが「わんぱくフェスタ」、こちらを2月25日に行いました。去年は新型コロナの影響もございまして、模擬店を縮小、自粛する中で行ったところでしたが、今回は食べ物の模擬店も出店を行いまして、昨年よりもたくさんの子供たちが天気が悪いにもかかわらず遊びに来てくれました。各参加団体の方たちもそれぞれ工夫をいただきまして、みんなで子供を楽しませるという目標の中で、とてもすばらしいお祭りになったと思います。

続きまして、高齢者の部でございます。「いきいき健康大学」、こちらは1月9日、2月13日、最終が3月12日でございます。こちらが終わったばかりでございますので、加筆をお願いいたします。3月12日、雨、人数が53名、男性9名、女性44名でございます。こちらも様々な角度から多彩な内容の学習をというところで、実行委員と相談をした中でプログラムをつくっております。1月には寄席を行い、2月には軽体操、3月には卒業のコンサートを行ったところでございます。非常に人気の高い事業でございますので、今後もさらに皆さんに喜んでいただけるよう、工夫をしていきたいと思っております。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらは健康づくり課のご協力の中、体を動かすイベントとして実施いたしました。

続きまして、「はじめてのスマホ体験『やさしい基本編』」でございます。こちらはデジタルデバイス対策の一環といたしまして、ソフトバンクのご協力を得まして実施したところでございます。内容的には少しずつレベルアップしてまいりまして、1月の段階ではアプリのLINEの使い方を教えていただくという内容でございます。とても好評のうちに終わったことをご報告いたします。

続きまして、「ふれあいいいきいきサロン華の会」です。こちらは湊町地区社会福祉協議会の方のお力を得て、1月10日、2月7日、3月6日に実施いたしました。3月6日につきましては終わったばかりで、まだ人数が入っておりませんので、加筆をお願いいたします。天気はくもり、参加者数61名、男性5名、女性56名でございます。こちらの事業はたくさんの方ボランティアの方が加わりまして、仲間意識を持った中で熱心な事業が展開されているところでございます。

続きまして、その他の部、「すくすく広場」です。こちらは12月19日、1月23日、2月

27日。3月22日はこれから行う部分でございますので、また別途、今後の書類のほうで提出していこうと思っております。

続きまして、「こんさーと in 風のまち浜町」でございます。こちらは2月17日に実施をいたしました。ほかの館と日にちが重なったこともありまして、またその内容が珍しくクラシックではなくてジャズという部分もございましてか、申込みスタート後非常に反応が緩かったといえますか、鈍かったです。その中で私どもも、これは定員に達するかなと不安になるぐらいなスタートだったのですが、その中で地元の方たちが見えるように外にポスター等々を貼りましたところ、そのあと数日で定員になりまして、たくさんの方、123名の方に来ていただいたところでございます。

私どもがここで感じましたのが、いつも広報と電話での受け付けでやるのですけれども、出足が遅かったことによって、今まで来たことがなかった本当に近所に住む人たちに今回たくさん来ていただくことができて、新しい発見とともに、不幸中の幸いではないのですけれども、予約が取りやすいことから地元の方たちが来てくれたという、少し喜ばしい話でもございました。内容はジャズでございましたので、ドラムスが入りまして、とても迫力のある演奏で、皆さん盛り上がったところでございます。

浜町公民館は以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございました。

宮本公民館、お願いいたします。

○宮本公民館長

宮本公民館の12月14日から3月31日までの事業報告をご説明いたします。

初めに、青少年事業の「ハッピーサタデー」です。1月21日に宮本児童ホームや宮本地区スポーツ推進委員と協力して、カナダ生まれの室内スポーツ、キンボールスポーツを行いました。当日は天候の影響もあつてか、定員には満たない開催となりましたが、子供たちと一緒にスポーツ推進委員や職員といった大人も混じることで楽しく盛り上がった時間を過ごしていただくことができました。2月3日には公民館の事業担当の経験のある有志の方が集まったあそびサークルの方たちに来ていただき、「おかしの家をつくろう！」を開催しました。参加した子供たちには作成した作品を収納できるお持ち帰り用のケースを用意してお渡しし、おうちでの家族との話題づくりにも活用してもらいました。

3月10日に開催した「みやもとこどもまつり」につきましては、ハッピーサタデーとしての位置づけと併せて独立した一事業としても位置づけられておりますので、このすぐ下の段の事業説明と併せて説明をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染防止対策や改修工事により、開催が見送られていました「みやもとこどもまつり」でしたが、今週の日曜日に4年ぶりに開催することができました。久しぶりの実施ということで、参加団体数の減少や参加団体との調整等にも不安がございましたが、蓋を開けてみると、当日は円滑に開会ができ、開会直後から来館者は盛況で、模擬店もお昼前から売り切れ続出のうれしい悲鳴となりました。10月末の「みやもとまつり」の際には販売に苦戦した様子もうかがわれていましたので、改めて子供向けイベントの持つ潜在的な集客力を再確認したところでございます。

なお、空欄となっている参加人数等ですが、当日の天候は晴れ、参加人数は延べ人数となりますが、5,926名でございます。

次に成人事業です。「船橋を歩く」は、旧上総道をテーマに2回にわたって実施した人気講座の後半です。天候にも恵まれたこともあり、高い出席率の下、講師の案内で現地を巡りました。

次ページに移ります。

「みやもと生涯学習セミナー」は、船橋市生涯学習コーディネーターとの共催で「はじめての足裏もみ体験講座」をリフレクソロジストの藤原講師をお招きして開催しました。こちら参加者の満足感が高かった講座で、手応えを実感できた生涯学習コーディネーターの方からは、次年度も健康をテーマとした講座を実施したいというお話を伺っています。

「スマホアプリ活用講座」は、2月の前半にデジタルデバイド対策講座として初級や中級者の方向けに全3回にわたって実施したものです。アプリの使い方を自分の携帯を持ち込んで学習できる実践的な講座として人気が高く、次年度以降も継続していきたいと考えております。

次に「家庭教育セミナー」です。1月24日は「親子で楽しく！ママのボディメイク」を一般社団法人日本親子体操協会の方を講師に、2月20日は「親子で楽しく！英語あそび」を英語講師の方を講師としてお招きし、宮本児童ホームと共催で児童ホームの体育室で開催しました。参加者の中には顔見知りの職員がいる通い慣れた児童ホームが会場だったこともあり、円滑に参加できている様子がうかがわれました。複合施設としてのメリットを再確認した事業となりました。

続きまして、高齢者事業です。「宮本寿大学」は報告書に記載のとおり、12月は落語鑑賞会、1月はダーツを、2月はコメディ時代劇の「超高速！参勤交代」を映画鑑賞会としてそれぞれ実施しました。寿大学は宮本公民館では第3水曜日に開催しているところですが、3月20日は春分の日祝日の休館日となっておりますので、例外的に第4水曜日の27日に開催いたします。行政書士の平野講師に、「心配事を減らして元気に生きよう、自分なりの終活を考えてみませんか」というテーマで講義をしていただきます。また、この日が「宮本寿大学」の今年度の最終日となりますので、併せて閉校式も行い、皆勤賞の表彰と記念品をお渡しする予定です。

次のページにまたがって記載されている「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」や「介護予防教室」の「げんき体操」は、資料に記載のとおりです。なお、昨日、3月13日に実施した「げんき体操」の参加者等でございますが、こちらは天候は晴れ、参加者は15名で全員女性でした。

続きまして、その他事業です。こちらまたがっている「地域ふれあいコンサート」ですが、宮本公民館三百人劇場実行委員会と共催で「シャンソンコンサート」を開催しました。若手のシャンソン歌手として注目が注がれている松城ゆきのさん、こちらの方の歌声、人を魅了するような歌声なのですけれども、それと舞台セットのおしゃれな演出で、ご来場いただいた方にはお値段以上の満足感を感じていただけたコンサートにすることができたと感じております。

次のページに移ります。

「みやもと三百人劇場」は、あさって3月16日に「第300回記念公演 室内楽大好き」と題しまして、チェロとピアノとヴァイオリンの質の高い演奏で本館での今年度最後のコンサートをお楽しみいただく予定です。今回の三百人劇場は無料のコンサートということもあり、定員300名に対して550名を超える方からの申込みをいただき、抽選の結果、当日のキャンセルも考慮した320名の方を当選とさせていただきました。そのような中で事情を察知した出演者の方のご配慮で、舞台上の脇にパイプ椅子で鑑賞席を新たに17席設け、急遽落選者の中から追加の当選者を決定してご連絡したところでございます。なるべく多くの方に楽しんでいただけるよう、出演者と一体になって今年度最後のコンサートをあさって開催いたします。

次に「2台ピアノを弾いてみませんか」は今度の日曜日、3月17日と、その翌日の月曜日、18日に開催します。講堂にあるグランドピアノ、スタインウェイとヤマハの2台のピアノを自由に弾いていただき、触れて楽しんでいただこうという企画です。人気のある事業でしたので、昨年度に引き続き実施するものでございますが、すみません、資料には昨年度の参加人数が既に記載されておりまして、24名は今の段階では削除していただければと思います。

続きまして、「乳幼児親子わくわくタイム」は、宮本児童ホームとの共催で児童ホームの体育室で乳幼児親子を対象に人形劇「おなががすいた にげろやにげろ」を来週の金曜日の3月22日に開催する予定です。

「親子の趣味教養講座」は宮本児童ホームと共催で、幼児親子を対象にバスボムづくりの体験講座を実施しました。土曜日の開催であったことから父親の参加グループもちらほらとある中、参加した保護者の方が皆、完成したバスボムを大事そうに持ち帰っている様子を見ることができ、おうちでのバスタイムを楽しんでいただけたのではないかと考えております。

「楽しく元気に歩こう」「宮本卓球開放」「宮本公民館ほんの森」「クリーンアップみやもと」「宮の森ギャラリー」「公民館報 みやもとかわら版発行」については、記載のとおりです。

宮本公民館からは以上です。

○沼波委員長

ありがとうございました。

続いて、海神公民館、お願いいたします。

○海神公民館長

海神公民館の12月14日から3月31日までの事業報告をご説明させていただきます。

初めに、青少年事業、「ハッピーサタデー」です。期間内に4回実施いたしました。

12月は風船を使ったパフォーマンスを楽しみました。実際につくった風船を持ち帰れるので子供たちに好評で、来年度も実施する予定でございます。

1月は親子でプログラミングを体験いたしました。こちらも子供たちが自分でつくったプログラムで、自分でプログラムしたとおりに車が動いたので、お父さん、お母さんに自慢しながら、親子で楽しんでいる姿が見られました。

2月は当初「スポーツ雪合戦」を予定しておりましたが、内容変更ということで「モル



ック」を体験いたしました。2月25日は4年ぶりに開催しました「海神公民館こどもまつり」です。こちら、当日は青少年相談員、スポーツ推進委員など、青少年に関わる方たちにご協力をいただき、スタンプラリーやビンゴゲーム等を行いました。当日は雨が降る寒い日でしたが、たくさんの子供たちでにぎわいました。子供ボランティアの参加もありましたので、ボランティアの経験のきっかけにもなったかと思えます。

次に成人事業です。1月26日、「地域防災講座」といたしまして、「災害めしづくり」を実施いたしました。こちらは袋のラップを使ってご飯を炊いたり、蒸しパンをつくったりしました。実習室はふだんあまり使われていないので、今後は事業で積極的に利用を図っていければと思っております。

次に「デジタルデバイド対策事業②」です。今回はLINE体験で定員を超える応募がございました。デジタルデバイド対策事業は、全体を通しまして、やはり個人の操作のレベルと求めているものの違いが大きく、満足度が少なかったのですけれども、ニーズはありますので、内容を検討して来年度も継続していきたいと思っております。

次に飛ノ台史跡公園博物館との共催事業で「考古学講座」です。記載のとおりの内容で3回実施しました。公民館利用は女性が多いのですが、こういった歴史ものは男性が多いので、男性利用の促進にもなったと思えます。

次に「海神寿大学」です。期間内に記載の内容で4回実施いたしました。こちらは最後の事業が終了いたしましたので、加筆をお願いいたします。3月13日、天気は晴れ、男性8名、女性43名、合計51名です。

次に「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらも最後は3月11日で、加筆をお願いします。天気は晴れ、男性8名、女性36名、合計44名の参加です。

その他の事業で「なかよし広場」です。12月20日のクリスマスイベントでは手遊び、アンパンマンたいそう等で親子のコミュニケーションが取れ、子供の笑い声も聞こえていました。1月24日は絵本の読み聞かせ、2月28日は人形劇を楽しみました。

次に「卓球開放事業」です。こちらも3月2日、加筆をお願いいたします。天気は晴れ、男性6名、女性が14名、合計20名です。「卓球開放事業」はすごく問い合わせも多く、参加者同士の交流もできましたので、サークル加入のきっかけとなりました。

次に「海神公民館ボランティア活動支援事業」です。こちらも終了しましたので、加筆をお願いいたします。3月12日、雨、男性1名、女性8名、合計9名。庭の除草作業と、来年度の計画をいたしました。ボランティアの方々も少し高齢になってしまいまして、残念ですが、ゴーヤの栽培は今年で最後としまして、来年度は種から育ててみようかなと計画しております。

最後に「海神公民館だより『かいじん』」です。予定どおり2,000部発行いたしました。

海神公民館は全ての事業が終了いたしました。ご説明は以上となります。よろしく願いいたします。

○沼波委員長

ありがとうございます。

各委員の方、ご質問等がありましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

○山中副委員長

海神公民館さんの「考古学講座」、これは会場は公民館ですか。

○海神公民館長

そうです。講堂でやりました。

○山中副委員長

それで、これはすごく参加者が多いのね。

○海神公民館長

そうなんです。大人気で。

○山中副委員長

今まで考古学的な、歴史のやつだとか、民族の、習俗というか、ああいうのをやってもこんなに集まった講座は僕の記憶の中にはないんです。何が大動員の理由なんですかね。

○海神公民館長

飛ノ台史跡公園博物館のほうで広報とか周知をしていただいて、うちのほうは共催だったので会場貸しぐらいたったのですけれども、どうなんでしょう、興味がある人が多いんですかね。

○山中副委員長

来られた方、参加者の名簿というのはおつくりになっていますか。

○海神公民館長

飛ノ台史跡公園博物館のほうで。

○山中副委員長

あちらでね。どこから来たという、いわゆる広域性がどの程度なのか、あるいは年齢層、もちろん飛ノ台史跡公園博物館のいわゆるネームバリューも含めてですが、どう考えてもこれは異常に多いですよ。今までこの手の企画で30人を越えた企画というのはほとんどなかったと思う。特に公民館でやったときにはね。それがこれだけ動員できたというのは、飛ノ台史跡公園博物館のほうで動員をかけたのがどういう形か、ポスターだけなのか。

○海神公民館長

同時期に博物館のほうで企画展を実施していたみたいで、関連した講演を行って、その相乗効果が生まれたのではないかとおっしゃっていました。また、この間、社会教育関係団体に登録させていただいた仏像の見方の会、あのサークルが40名ぐらい入ったというのもありますね。あの辺から行ったのかもしれないです。

○山中副委員長

これは大当たりですね。3回にわたって企画そのものも面白いですが、平均してみたって100名の動員だからね。しかも、男女でいっても、女性も男性も非常に参加の数が、まあ男のほうが多いんだけど。いや、びっくりしました。

○沼波委員長

よろしいですか。

○山中副委員長

はい。

○沼波委員長

他の委員の方はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○山中副委員長

ちょっと引っかかっているのがあったんだよね。どこだったかな。お値段以上という話がちらっと出た。

○沼波委員長

ありましたね。

○宮本公民館長

はい、私だと思えます。補足説明してもよろしいですか。

実は、シャンソンコンセール、こちらは「地域ふれあいコンサート」ということで、ふだん無料でやるのが多いのですけれども、有料で前売り券が1,000円、当日券1,300円で、シャンソンのコンサートとしては格安の値段ではあるのですが、公民館で「地域ふれあいコンサート」等でやっている有料コンサートだと500円とか、そういったことが多いものですから、なかなか定員には至らなかった部分です。

○山中副委員長

それにしたってシャンソンで222人集まっていたら、大変なものですよ。通常で考えたら。

○宮本公民館長

ありがとうございます。

私も当日は会場整理や駐車場・駐輪場整理で講堂には入れないのですけれども、その前のリハーサルなどは聞かせていただいて、先ほどお話しした松城さん、元ミュージカル等で活躍された方がシャンソンのほうに転じられたということで、やはり歌声などが劇で語られるような歌い方をしてくださるので、魅了されるというような感じはしました。

その近辺でラジオか何かで松城さんの特集のようなものがされたようで、もともと注目が集まっているので、今回お申し込みをいただいた方も、市外からも松城さんのコンサートが1,000円ならばということで申し込みをいただいた方も多々あり、私も電話で受け付け等をしております。お金を払いに来てもらうので、結果的に電話で受けても来ていただく形にはなったのですけれども、そういった方もいらっしゃいました。

舞台上も、これはうちの講堂のほうを担当しているコンサートの技術職員がやったところもあるのですが、シャンソンということでパリの雰囲気を出すために、小物ですけれども街灯やベンチ、そういったものを用意しました。

○山中副委員長

ベンチね。

○宮本公民館長

近くの動物病院さんからお借りしたのですけれども、色がちょうど緑色で合うということ。

○山中副委員長

猫足のね。

○宮本公民館長

はい、そうです。お借りしたのですが、そういう事情も知っていたのかもしれないのですが、松城さんもそこに座って歌ってくださって、すごい雰囲気が出ていたというようなことも言ってくださって、会場にいらした方のアンケートはもちろんですけれども、お帰りになる際に、

これはよかったというのは皆さん言うてくださったので、お値段以上という言葉を使わせていただきました。

○山中副委員長

変な話だけど、会場としては有料でやる場合で考えたときに、一般の劇場などと違って、公民館というと場末ですよ。場末のシャンソンといたら、人は集まらないですよ。それが有料で集まったというのは、人集めにものすごく努力されているのね。これは、おっと思って。結構いろいろやって、そのほかのものもあったのでしょけれども。

これは市内だけだったら、とてもこんなに集まる企画じゃないですね。ネームバリューから考えたら。この人を知っている人が来たという感じですよ。

○宮本公民館長

正直、担当者からはすごく人集めに苦労したと。なかなかいっぱいにはできなかったということで、いわゆる収支的にもぎりぎりという形でした。

○山中副委員長

でも、やっぱりいいですよ。

○宮本公民館長

ありがとうございます。

○山中副委員長

それと、中央公民館さんの和菓子づくり体験ですけれども、これはどんなものをおつくりになったんですか。

○中央公民館長

「ハッピーサタデー」の部分ですね。当日、いちご大福であるとか、ねりきりによってつくる和菓子ですかね。3種類ぐらいつくりました。私どもも最後、講師の方がご用意されたおはぎなどはちょっといただいたのですけれども、3種類のものを子供たちと親子でつくりました。

○山中副委員長

これは有料ですか、無料ですか。

○中央公民館長

材料費だけです。

○山中副委員長

材料費はいくらだったんですか。

○中央公民館長

500円です。500円で和菓子を3つ。お持ち帰りということで。

○山中副委員長

親子はペアというか組になって、1組でつくるという感じですか。

○中央公民館長

そうですね。1人の親が2人連れてくればお子さん分なので、6個500円、500円になります。

○山中副委員長

要するに子供の数で、これもお得ですね。すごく楽しい。イメージが浮かびます。ただ、「和

菓子づくり体験」だけだと分からないんですよね。例えばスマホのものみたいに、聞いている中ですぐストレートに内容をこちらが理解できるものと、こうやって聞いてみて、ああ、そういうあれでやったのだと。僕はもう単純に和菓子といったときに、型を使って干菓子のようなものがありますよね、ああいうものをやったのかなと。そうしたら、いちご大福というのが出てきたので、なるほどねと思って。

ついでに、その次の「火おこし体験・土器学習」ですが、これは火をおこすということだから、室内でやったのか屋外なのか、ちょっとそれが一つ気になったのと、土器の学習というのは土器をつくることをやったのか、あるいは仕組みなどを含めたやり方についての映像での学習なのか、ちょっとそこら辺を教えていただけると。

○中央公民館長

まず、前回の審議会でも、火おこしてどこでやるんですかとお質問を受けていたのですが、実際、講堂でやりました。火おこしといっても弓きり式というのですか、横に引く形で木くずを落として、種火をつけて麻のようなところに落とす。その程度で、火がぼっと出るような感じではないです。私も最後のほうに入ったときに、ちょうど1人の女の子がもう本当につく寸前でした。よくテレビでも手で回したりするとぼっとつくと思うのですが、ふっと息でやっていたので、最終的には消えてしまいました。すぐバケツの中に入れる形で、火おこしのほうは室内で体験しました。

ですので、上がったらやはりちょっと煙いにおいはどうしても出てしまうということで、この時間帯は、講堂を9時から3時まで押さえていたので、午前中に終わって、開けっ放しにしてにおいを飛ばしたような感じでした。

土器の学習については、これはつくるのではなく……。

○中央公民館職員

持ってきていただいたんです。教育庁の文化財課の方が実際に持ってこられて、そのときの説明と、あまり博物館で直に触れるというものはないかもしれないのですが、それを子供たちが実際に持ってみたりして、案外軽いなだねとか、そういった体験、講習も実践していただけたので、火をつける体験とか、実際に土器に触ってみてという、それに触れるところも併せてできたい講座だったのではないかと思います。

○山中副委員長

土器というのは、何種類か持ってこられたんですか。

○中央公民館職員

何種類か。そうです。

○山中副委員長

縄文、弥生とか。

○中央公民館職員

そうです。並べられていて。私も写真だけでしか拝見できなかったのですけれども、何個か土器が並んでいる中で、子供たちと親御さんが一緒に説明を受けて、実際に持ったりということをしていました。

○山中副委員長

はい、分かりました。ありがとうございます。

○沼波委員長

よろしいですか。

中野さん。

○中野委員

浜町さんの「ふれあいいいききサロン華の会」で、高齢者による交流会や軽体操とございますよね。毎月実施で、軽体操のほかには、交流会としてはどのようなことをされているのですか。

○浜町公民館長

様々な催し物があるのですけれども、例えば歌を歌う方を呼んだり、当公民館のサークル活動をされている方たちが出演して何か披露したり、そういったことをしております。

○中野委員

そうですね。1時間半の中で軽体操をずっとやっているということではないですよね。

○浜町公民館長

そうですね。

○中野委員

私が知っているほうでも年に何回かあって、軽体操もやるんですが、ほかにどんなことをしたらいいかしらねと、いつも考えるので。

○浜町公民館長

公民館としても、やはり活躍しているサークルに出演してもらう場面を、双方にとっていいことかなと私も感じていまして。

○中野委員

そうですね。文化祭だけでなくね。

○浜町公民館長

ええ。そういう発表ができる、例えばコーラスや楽器を演奏する団体さんには、時々お声をかけさせていただくような形を取っております。

○中野委員

分かりました。ありがとうございました。

○沼波委員長

よろしいですか。

ほかの方、いかがでしょうか。

なければ、この後、4件の承認の件があるので先に進めさせていただきます。

それでは、この12月14日から3月31日までの事業報告は承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○沼波委員長

承認ということで、次、お願いいたします。

○中央公民館長

ありがとうございます。

○中央公民館長

今年度はこれで本日が最後となります。

次回、令和6年度につきましては、公民館運営審議会の委員様の2年に一遍の更新の年になります。ですので、全ブロックの委員の皆様がまた新たに委嘱されることとなりまして、一応、合同委嘱式の予定をまず口頭でお伝えさせていただきます。

令和6年5月2日、木曜日になります。委嘱式のほうは14時からを予定しております。市役所の11階、大会議室でございます。

この合同委嘱式の通知につきましては、4月に入って教育委員会会議が4月18日にございまして、そこで承認を得た後、通知が行くという形になります。ちょっと先になるので、まずご予約のほうを今のうちに押さえておいていただければと思います。

その後、合同委嘱式終了後、中央公民館で第1回の審議会ということで、こちらは市内に5ブロックあるのですが、5ブロックが全て中央公民館で行うという形になります。中央公民館の運営審議会はこの第2集会室でやる予定でございます。

また、会議の冒頭申し上げましたが、社会教育関係団体の資料は回収させていただきますので、机の上に置いたままご退席をお願いいたします。

長谷川先生、何か一言ありますか。

○長谷川委員

昨日、湊中学校の卒業式が無事に終わりました。137名に卒業証書を一人一人渡すことができました。一応、進路が決まっていないのがまだ1人いるのですけれども、それは大阪のほうに引っ越すので、大阪の学校を受けています。11日に試験があつて、発表が19日ということで、まだ1人だけ決まっていないのですが、多分、大丈夫ではないかなというところです。

私は2年間、この運営審議会に委員として参加させていただきまして、なかなか意見も出せず申し訳なかったなと思うのですけれども、一応任期2年ということで、来年からこの席は小学校の校長が恐らく2年やるという形になると思います。またどうぞよろしく願いいたします。

○中央公民館長

ありがとうございました。

あとは大丈夫ですか。

○沼波委員長

はい。

○中央公民館長

以上をもちまして、令和5年度第5回中央公民館運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後4時9分開会

議事録署名人\_\_\_\_\_